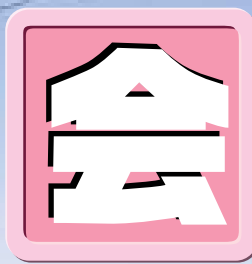




ながはま



Vol.29

平成25年4月15日発行  
発行：長浜市議会  
編集：議会だより編集委員会

だより

平成25年3月定例会が2月28日から3月27日まで(22日間)の日程で開催されました。

常任委員会報告	2頁
議員個人による主な質問事項と答弁内容	3～9頁
アンケート結果速報	10～12頁
議決結果表	13頁
議会からのお知らせ、編集後記	14頁

# 各常任委員会の報告

各常任委員会では付託された議案について審査を行いました。主な内容は、次のとおりです。

## 平成25年度予算等を審議

総務教育常任委員会

当委員会に付託を受けました議案は「平成25年度長浜市一般会計予算」等24件であり、慎重審議の結果、いずれも承認または可決すべきものと決しました。また「米軍関係者による事故・事件における第1次裁判権放棄の密約の破棄日米地位協定の見直しを日本政府に求める請願」は趣旨を承と決しました。

▼補正予算として、各支所庁舎利活用にかかる整備費用、各小中学校の体育館補修整備や耐震化、空調設備費用等に関する諸議案のほか、平成25年度予算の子育てや教育、防災、行政改革、地域振興など多岐にわたる事業を審議し、活発な議論が交わされました。（紙面の関係上割愛しますが、詳細は長浜市ホームページ↓長浜市について↓行政情報↓財政情報をご覧ください）

▼条例改正は、多文化共生・国際交流ハウス条例の制定や職員手当・退職手当条例、公民館条例の一部改正です。

▼その他、きのもと交遊館の指定管理、国土利用計画等について審査しました。

▼その他、議案以外の協議事項として、公民館の活動方針案について説明を受け議論を交わしました。

## 放課後児童クラブ運営事業の充実

健康福祉常任委員会

当委員会に付託を受けました議案は「平成25年度長浜市一般会計予算」ほか特別会計・事業会計予算等19件、請願1件の計20件であり、慎重審議の結果、いずれも可決すべきものと決しました。

▼平成25年度一般会計の主なものは、環境保全対策事業、福祉医療助成事業、しょうがい福祉施設設備支援事業、放課後児童クラブ運営事業、保健福祉複合施設整備事業等です。

▼条例改正は、再生可能エネルギーの導入及び利用促進を図るため、再生可能エネルギー設備の設置に係る公共施設の使用料について規定するための一部改正等です。

▼核家族化や女性の社会進出の増大等により、家庭における育児環境は脆弱なものとなっており、放課後における児童の健全育成・安全確保が喫緊の課題となっており、平成25年度は開設基準を緩和すること等により、放課後児童クラブの新規開設や地域による放課後児童クラブに対する運営費の助成等により充実を図られます。

▼当委員会から「湖北献血ルーム廃止の白紙撤回を求める意見書」を提出しました。

## 駅周辺整備・観光施策事業の充実

産業建設常任委員会

当委員会に付託を受けました議案は「平成25年度長浜市一般会計予算」等24件であり、慎重審議の結果、いずれも承認・可決すべきものと決しました。

審査に先立ち新観音坂トンネル工事及び神照運動公園プール整備工事の現場視察を行い、進捗状況を確認しました。

▼平成25年度



新観音坂トンネル工事現場

一般会計予算の主なものは、まちなか居住推進事業、長浜駅周辺整備事業、花と観音の里・奥びわ湖づくり事業等の集客人口の拡大に向けた観光施策事業等です。

▼条例の改正は、旧浅井地域、旧湖北町地域の水道事業を長浜水道事業団に移管することに伴う関係条例の改正及び農業集落排水処理施設使用料を公共下水道使用料の体系に統一するための改正等です。

▼当委員会から「環太平洋経済連携（TPP）交渉への参加に反対する意見書」を提出しました。

# 市政を問う



今定例会では20人の議員が個人一般質問に立ち市政を質しました。主な質問と答弁の内容を発言順に掲載しています。



東 久雄 議員

(公明党)

## しょうがい者の自立、就労支援の取り組みについて

**問** 本法律の施行にあたり、施設、関係者への周知、必要な措置の取り組みを問う。

**答** この4月から施行される「障害者優先調達推進法」のとおり、物品等の調達方針の策定と公表、調達実績の公表を図ることとされており、本市も沿うものとする。市ホームページにおいても施設の販売物品や役務情報を公開し、広く一般に呼びかける。周知だけでは十分とせず、発注側の意識付けが重要な課題であり、しょうがい者施設の物品や役務に関する詳細な情報提供と要請を市組織全体に強く働き掛けることや施設と発注側のマッチングを担当課が行うなどの取り組みを積極的に進める。

## 非構造部材の耐震化事業と老朽化対策、国の補正予算、新年度予算の活用について

**問** 屋内運動施設等の点検、対策を平成25年度中に完了させるべきと思いがどうか。

**答** 「屋内運動場等の天井に係る診断フローチャート」に基づき、平成25年度早期に総点検の完了を目指し、対策が必要となった場合は速やかに対応していきたい。

**問** 学校施設の老朽化の現状と今後の対策について問う

**答** 大規模災害時の避難所となる体育館等の老朽化を考慮し、平成25年度から創設される長寿命化改良事業を活用しながら教育環境の充実を図ってきたい。



脇阪 宏一 議員

(プロジェクト21)

## コミュニティ・スクールについて

**問** 「いじめ」の早期発見や予防、さらに「学力向上」に求められる「コミュニティ・スクール」の設置について問う。

**答** 本市では、平成24年度から全小中学校と1園を「コミュニティ・スクール」に指定している。ここでは、学習・行事、体験、安全等の分野で地域の人に直接教育活動に参加していただいている。1校平均76回の支援活動が行われている。今後も地域との連携を深め、地域の人材を活かした取り組みの充実に努めていく。

## 長浜新川の改修について

**問** 長浜新川築造当時に謳った「市民の憩いの場となる美しい河川」は何時ごろ完成するのかを問う。

**答** 県は必要に応じて適切に維持管理を行っているが、当面は現行の整備水準を維持する。本格的改修には、まだ時間を要する。本市としては、計画当時に市民の皆さんに示したとおりの長浜新川が一日も早く完成するよう県に強く働きかけていく。危険箇所については一日も早く対応していただくよう今後も強く要望していく。さらには橋下流の遊歩道についてはジョギングやウォーキングができるよう来年度以降整備にかかる計画がされている。完成の暁には広報する。



長浜新川の状況





浅見 勝也 議員  
(プロジェクト21)

道路ストック対策の今後について

**問** ①本市の施策にどう位置づけて展開していく考えか市長の見解、②国や県管理の各トンネルの点検報告及び本市からの要望の有無、③市管理の各橋梁の長寿命化年次計画の内容及び財源の見通し、④国の工事計画代行の制度利用の考えについて問う。

**答** ①老朽化道路施設の改築・修繕は急務で国の制度や補正予算を積極的に活用する。②国・県で点検調査は実施済みで危険事象報告は受けていない。市の意見を添え要望をしている。③25年度に修繕の計画を策定し今後10年間で修繕及び架け替えを実施、国の各交付金を財源とする。④現有職員への対応困難も想定し、今後国の基準や県の動向を注視する。

妊産婦にやさしくまねて

**問** ①妊産婦に対する本市での取組、②「マタニティマーク」の普及及び啓発の取組、③産前・産後のホームヘルパー派遣事業の導入、④災害時における妊産婦の支援対策について問う。



**答** ①各相談の受付、講座の開催、訪問指導による支援等を継続的に行っている。②現在妊婦全員にストラップを配布、ポスター掲示等で周知・啓発を図ってきた。③家事支援が必要な場合のヘルパー派遣をこの4月から実施していく。④災害時要援護者と位置づけし、必要な保健支援等のサービスを実施する。



落合 武士 議員  
(プロジェクト21)

2024年滋賀県国体を見据えた市内社会体育施設の今後の整備について

**問** 市としての協力体制について問う。

**答** 知事の開催誘致表明を受け、市としても健康づくりや青少年健全育成、地域活性化など、たいへん意義深いものがあると考えている。他市町とともに協力体制を整えていくことになる。

**問** 市内社会体育施設と必要となる大型複合施設の今後の整備計画について問う。

**答** 教育施設の耐震化が平成26年度で完成する予定である。社会体育施設についても避難所に指定されている施設から優先的に順次改修を進めていく方針である。国体開催を見据えたスポーツ施設整備計画や大型複合施設の整備計画は、今後の県準備組織の動向を見ながら対応を考えていく必要がある。

「みどりの基本計画」に基づく緑化推進事業および対策について

**問** 駅前整備や新庁舎等、公共施設整備に伴う緑化推進について問う。

**答** 新庁舎は芝生や植樹等により約1千㎡の緑地や水辺空間を設け、市民の憩いの場となるよう計画している。また駅前周辺や中心市街地は、緑が不足しているとの認識のもと、緑化推進重点地区と位置付け、街路樹等の緑化を図っていきたい。また市民団体等の関係諸団体と連携し、ネットワーク強化や人材育成に努め、身近な緑化も推進したい。



松本 長治 議員  
(新しい風)

地域の課題と市の施策のあり方について

**問** 地域から『ガソリンスタンド』がなくなることにどういったように認識しておられるか。また、市として支援ができないのか問う。

**答** 地域に給油所がなくなることは、地域住民の日常生活に大きな支障が生じる課題であると認識している。また、早い段階で関係各課と協議し、支援の方法も研究していく。



北部地域にあるガソリンスタンド

**問** 災害時の燃料調達について、現在の『長浜市地域防災計画』では、十分な調整がされていないのではないかと。

**答** 燃料等の確保については次回計画の改訂時に項目を含め見直す。

長浜市のスポーツ振興について

**問** 市のスポーツ振興には、それを担う人づくり、スポーツに親しむ地域づくりが大切と考えますが、市の考えを問う。また、そのためにもスポーツ施設の利用料を安くしてほしいかと。

**答** 平成25年度に、『長浜市スポーツ推進計画』を策定し、『いつでもどこでも・だれでも・いつまでも』気楽にスポーツに親しめるよう、基盤づくり組織づくりに取り組んでいく。施設使用料については、今後、施設の管理を地域の団体に指定管理していく中で、きめて検討していく。



竹内 達夫 議員  
(日本共産党)

「体罰」は何故なくならないのか

**問** 勝利至上主義が体罰の温床と言われ、文科省は、ここ10年間で毎年400人前後、体罰を理由に教職員を処分し、そのうち3割が部活動であり、氷山の一角と言われている。元巨人軍の桑田真澄氏は、時代に合った指導法が必要であり、体罰は一番卑怯で、指導者としては失格、スポーツには体力・技術力・精神力が必要であり、根性では勝てないと指摘されている。体罰は「禁じ手」「犯罪行為」であるので、教育現場から一掃すべきと思うがどうか。

**答** 指導という名の下に具体的苦痛を伴う行為、体罰は人権の否定である。学校教育法第11条に「児童生徒に体罰を加えることはできない」とされている。体罰で教職員を処分した事例はないが、体罰根絶のために指導を徹底する。

市立長浜・湖北病院医師不足は深刻

**問** 医師・看護師不足、勤務医の過密・長時間労働・有給休暇の消化状況について問う。

**答** 医師不足は全体的なものだが、湖北・湖西地域では特に救急や産科・小児科・精神科・麻酔科・内科が不足している。医師の1九月1人当たりの最高時間外勤務は156・6時間、有給休暇は平均で5・7日の低取得率である。湖北病院は21名(平成18年)の常勤医師が13名(本年3月)となり、きわめて深刻な事態である。過重労働環境改善に ついても医師数の増加が重要となる。



林 多恵子 議員  
(公明党)

現市役所跡地利用について

**問** 市役所は、平成26年度末に移転が完了すると聞いている。速やかに解体し、土地活用をすべきである。児童館を中心とした長浜公民館と図書館および周囲の施設を取り入れた総合施設や駐車場としての活用など、跡地利用の意向を問う。



現市役所本館

**答** 現庁舎は新庁舎完成後に解体する。平成27年1月から着手し、期間は5か月を見込んでいる。解体費用は新庁舎整備費に含んでいる。今後のまちづくりや中心市街地の活性化につながるような利活用を図っていきたくと考えている。

子ども子育て新システムについて

**問** 昨年末に「子ども子育て関連三法」が成立した。本市としての取り組みについて問う。

**答** 平成27年度からの「新システム」の本格実施に向け、平成26年度中に「子ども子育て支援事業計画」を策定するため、子育てに関するニーズ調査を平成25年度中に実施したいと考えている。「次世代育成推進協議会」との調整を図り、国の指針に沿った「子ども子育て会議」の設置について検討していきたい。

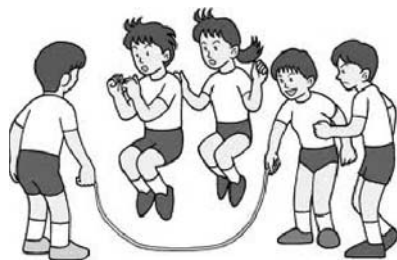


押谷 憲雄 議員  
(長浜維新の会)

完全循環型リサイクルシステム「エコサークル」への取り組みについて

**問** 市内の小学校では、エコサークル対応素材の体操服を県内で一番多く採用している。環境教育の推進と実践として、県下初の活動への取り組みを本市で進める考えについて問う。

**答** 体操服の変更をしなくてもエコサークル活動に参加しやすい環境にあることから、収集運搬等に取り組みするための課題に対応し、検討していきたいと考える。



市立病院と国保直営診療所の運営管理組織の一元化について

**問** 市民が安心して生活できる環境を等しく提供していくため、国保直営診療所、へき地医療の体制の改革が必要である。病院管理者を長浜地域医療管理者として医療専門組織の体制を整え、医師確保など山積する課題解決に取り組むべきと考えますが、当局の考えを問う。

**答** 健康福祉部・市民生活部の2部局間での管理体制では弊害があると考えており、組織の一元化は課題解決に効果があると思っている。医師確保等にもより対応しやすいと考えており、組織を一元化していく。





**山岡 孝明 議員**  
(プロジェクト21)

**第9次長浜市交通安全計画について**

**問** 自転車利用環境の整備状況について問う。

**答** 道路の新設や拡幅改良を行うときには「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」に基づき検討を行うとともに、既存歩道等においてもその形態や幅員などさまざまな制約がある中、自転車がより安全に利用できるような環境整備を推進していきたい。

**問** 幼児・児童・中学生の安全教育の推進状況について問う。

**答** 学校安全計画により警察や交通安全協会等の関係機関、スクールガードや関係市職員等、地域の方とも連携し、グラウンドや講堂での実践的な安全教室、ビデオ教材を活用した視覚的な指導等、参加体験を取り入れ、安全教育の充実を図っている。

**問** 長浜市自転車安全利用に関する条例の制定について問う。

**答** 第9次長浜市交通安全計画に基づき、市道・啓発の充実および関係機関との連携強化など自転車の安全利用に関する取り組みをさらに積極的かつ着実に実施し、その効果を検証していくことが大切であり、現時点では条例の制定は考えていない。



**森田 義人 議員**  
(新しい風)

**合併協定書の検証について**

**問** 事務事業の調整で未着手または事業完遂不可項目は何か。その理由と今後の方針を問う。

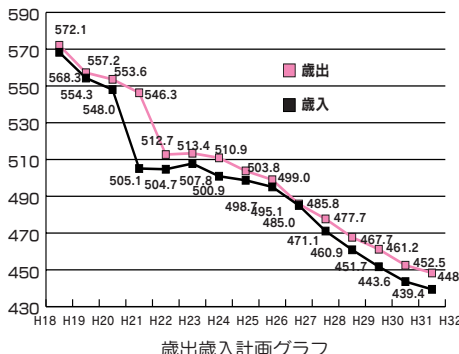
**答** 1市6町の調整項目は197項目、前回の合併と合わせると630項目となる。調整終了項目は617項目であり、残り13項目も年次計画に従って順次進めている。

**問** 合併基本計画の6つの重点プロジェクトの進捗状況を問う。

**答** 6つのプロジェクトは合併後の新長浜市の施策の方向性を示しており、合併基本計画の重点プロジェクトについては、その方向性に従った事業展開を現在も続けており、軌道修正を余儀なくされている事業はないと考える。

**問** 財政計画は、単年度における財政収支黒字化など健全財政における最重要課題であり分析と課題等の見解を問う。

**答** 平成26年度までに人件費10億円、公債費13億円、扶助費+物件費で7億円、合計30億円を改善し、平成32年度までに合併特例措置分の50億円を解消し、歳出規模を45億円程度とする計画としている。



**浅見 信夫 議員**  
(日本共産党)

**国民健康保険について**

**問** 市の国民健康保険特別会計決算の財政収支の経過をみると、平成22年度は407万円、平成23年度は1億4896万円の赤字。平成24年度は3298万円の赤字の見込みで、平成24年度末の国保財政調整基金残高は3億5224万円となる。市の国保加入世帯は1万7023世帯（平成24年3月末）、加入率は38%になる。国民健康保険は憲法第25条（生存権保障）の規定に基づく社会保障制度で、国民健康保険法では、国保を「社会保障及び国民保健」のための制度として規定し、国や市の責任を明記している。国保は市民の医療セーフティネットで、約4割の世帯が加入していることから、保険者である市が責任を持って、市民のための国保を財政的に支援するのは当然のことである。平成23年度15%、平成21年度10%も国保料が値上げされ、市民所得が減る中、高すぎる国保料を引き下げてほしいとの声は大きいものがある。国保料について、国庫負担率の引き下げを国に求めるとともに、一般会計からの繰り入れや基金の取り崩しにより、保険料を引き下げるべきだと思いがどうか。

**答** 保険制度の原則は、加入者同士の相互扶助であり、基金の取り崩しや一般会計からの繰り入れは慎重にすべきと考える。被保険者でない市民の税金を国保料にあてることは、市民の理解を得にくい。



石田 節子議員  
(プロジェクト21)

合併後の3年間の検証と今後について

**問** 地域振興策には、地域特性を熟知した支所職員が関わることが大切と考えるがどうか。

**答** 自治会や地域づくり協議会をはじめ、支所・本庁に関わらず、関係分野の職員が一丸となって地域振興に取り組んでいく必要があると考えている。

**問** 今後の支所のありようを問う。

**答** 数年後には窓口業務のみとなる。

**問** 「長浜ふるさと祭り事業」での一体感の醸成の進め方、スケールメリットを生かした合併効果について問う。

**答** 昨年同期様「湖北・長浜ふるさと夏まつり市民の会」が協賛金を一括して集め、広報と協賛活動で地域の一体感の醸成につなげる。長浜の認知度を最大限に活かし、集客交流人口の増大と地域文化の継承・発展を図る。

山間・へき地対策について

**問** 少子高齢化による災害時の体制づくりや買い物難民対策、医療・福祉対策を問う。

**答** 「地域防災計画」「地域福祉計画」により自助・共助・公助で、市ぐるみの協働体制で取り組む。今年度は「定住」「地域」「安全・安心」などを重点的に進める。買い物難民対策には、関係機関と連携して対応していく。医療・福祉対策では地域医療の安定供給のため湖北病院の医師確保や経営健全化に全力で取り組みたい。



伊吹 正弘議員  
(新しい風)

防災危機管理課の仕事と原子力防災について

**問** 総合防災マップを市民に配布し、広報も使って周知したと考えているかもしれないが、本当に市民は知っているのか。また図上訓練を5地域で実施したが、500万円の費用対効果について問う。

**答** 防災出前講座と体験講座により約2300人の市民に説明した。図上訓練は5地区211人の参加があり「良かった」という声が多かった。

**問** 出前講座など、自治会等から言われたから実施しているレベルでは仕事とは言えない。当局からもっと働きかけるべきではないか。

**答** 指摘されたことは前向きに取り組む。

**問** 原子力防災ハンドブックでは「正しく怖がる」という原子力防災の基本を市民に伝えられていない。ヨウ素剤を服用しないことを第一に考えた防災計画にすべきではないか。

**答** ヨウ素剤を飲まないに越したことはない。服用は予防措置と考える。

**問** 自家用車で避難する方が現実的ではないか。渋滞を心配しているが、余呉や西浅井では考えられないと思うがどうか。

**答** 国・県の指針に合わせながら現実的な防災計画を策定していきたい。



東野 司議員  
(今浜会)

長浜駅周辺整備について

**問** 長浜駅周辺整備における方針について問う

**答** 伊吹山への眺望にも配慮する中で、地元の理解も得ながら中心市街地活性化協議会と連携し進めている。南街区、東街区、北街区はそれぞれの機能を有し、3つの街区が物理的にペDESTリアンデッキで繋がれ、人々が快適に過ごせる公共空間とするよう考えている。デッキの豊公園や市街地への広がりについては、実現の可能性を探っていききたい。

政府におけるPPPの動向と本市における農業を始めとする第一次産業の今後について

**問** 政府はPPP交渉参加の流れだが、本市において強い農業を作っていくための施策として、次年度どのようなものがあるのか。日本中に、世界中に打って出る可能性について問う。

**答** 本市の農業は水稲、麦、大豆を基幹作物とした土地利用型農業で、強い農業に繋がる施策として、水稲の生産コスト縮減、単収の高い園芸品目や特産農産物の推進が必要と考えている。当初予算では、ビニールハウス設置補助、学校給食用野菜供給拡大の機械購入補助、新規事業として農林漁業者に対し、6次産業化や農商工連携等、高付加価値化を図る事業補助を創設した。今後、農業関係団体と連携し、強い農業に向けた取り組みを引き続き推進していく。





吉田 豊 議員  
(所属会派無し)

新生黒壁について

問 どのように支援する  
のかを問う。

答 黒壁は公益性の高い日本最古参のまちづくり会社の一つであり、官民一体となつて設立した全国の地方都市再生の先進モデルであると考えている。今後とも官民一体となり、新社長や取締役の皆さんと協議された新たな経営方針および具体的なリニューアル計画に基づき、より一層の連携を図りながら効果的で魅力ある施策の支援をしていきたいと考えている。



黒壁1号館

中心市街地の活性化に必要な交通環境整備について

問 中心市街地と郊外を結ぶ交通環境の整備について問う。

答 本市の道路計画には、都市計画マスタープランと道路整備マスタープランがあり、具体的な整備計画として位置づけている。市域が拡大したため、国道8号線と国道365号線を南北の都市軸として、それらと複数の都市内幹線道路と有機的に結ぶことで中心市街地と郊外の地理的連携や人の交流を深め、県北部の中核都市として市域全体の活性化を図っていききたいと考えている。



中島 康雄 議員  
(新しい風)

都市計画道路地福寺神照線の整備について

問 地福寺神照線の早期着工を問う。

答 新庁舎のアクセス道路として駅前道路より南L1130mについては、平成27年1月の新庁舎完成に合わせて整備する計画。北への整備L1100mについては、関係者の協力が得られるよう取り組みを進める。

介護保険制度利用者に対する支援対策について

問 日頃から被保険者やサービス利用者にとれほど寄り添って、本人・家族の苦情や相談をどこまで引き出して対応できているのかを問う。

答 市として、今後も利用者等との懇切丁寧な関わりを持ち、事業所への指導が介護保険サービスの向上につながるよう、引き続き対応を図ってきたい。

長浜病院駐車場の整備について

問 来年度、長浜病院では、がん診療連携拠点病院としての診療機能強化や脳・心臓の血管障害に対応する高度医療の提供を図るために「診療支援棟」の建設に着手、市民がさらに質の高い適切な医療サービスを受けられるようになりますが、建設による駐車場不足対策について問う。

答 駐車場の大きな要因となる外来者数は、平成13年の1日1800人をピークに現在では1200人まで減少している。新たに所有敷地南側を拡幅造成し、60台確保と駐車場区画見直しを実施し46台確保し対応する。



柴田 光男 議員  
(今浜会)

体罰の問題について

問 管理指導で子どもたちに結果を求めすぎ、体罰行為に及んでしまう指導者の資質向上が求められる。市としての対応を問う。

答 中体連で競技種目ごとに指導者講習会を実施している。本市も部活動における体罰防止の研修会を実施している。

問 一貫指導で段階的に適切な指導ができる環境づくりについて問う。

答 勝利至上主義で、子どもたちに過剰な身体的・精神的負担を与えることは発達面からもあってはならないことであり、各スポーツ関係・地域の連携強化を図っていく。

北部地域の活性化について

問 北部地域では、高齢化と地域雇用の場が無い状況の中、地域活性化の具体的施策について問う。

答 「北部地域活性化計画」に基づき、地域課題の解決に向けて施策を展開している。耕作放棄地の再生に向けた取り組みの継続と強化を図る。また特産品の研究を進め、6次産業化に繋げていきたい。

問 「交響の郷づくり事業」について、昨年開催した余呉芸術村の成果と課題を活かした取り組みについて問う。

答 昨年の取り組みとして余呉各地域で作品を展示した。反応も良く、地域の魅力をPRでき、市民と行政が一体となったイベントになったと考えられる。今後も北部地域の活性化を図ってきたい。





**藤井 繁 議員**  
(新しい風)

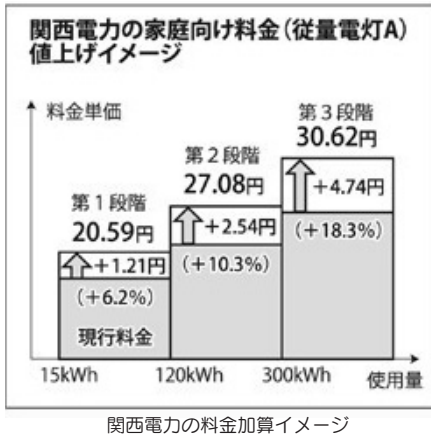
**4月からの電力料金の値上げストップ・見直しについて**

**問** 4月から一方的に電力料金の値上げが発表されているが、市内の工業会、商工会議所、商工会等に今度の大幅な料金値上げが経営に与える影響について、至急にヒアリングを行う考えがあるのか問う。

**答** 本市内の経済、雇用情勢は厳しい状況下であり、工業会、商工会議所、「長浜ビジネス協議会」とも協力して生の声を聞き、実態把握に努めたい。

**問** 市内工業会、商工会議所、商工会とのヒアリング結果を受け、県市町が連携して、国、関西電力に、4月からの値上げ凍結、見直しを求める考えがあるのか問う。

**答** 平成25年度より、中小企業の太陽光発電等の設備導入を支援し、「中小企業設備投資等促進補助金制度」を創設する。市内企業の生の声を自治創造会議等、様々な機会を捉え、県市町と連携し、関西電力、国等へ地域企業の生の声を伝える限り伝えていきたい。



**杉本 敏隆 議員**  
(日本共産党)

**就学援助制度の拡充について**

**問** 経済的に困難な状況があっても、子どもたちがお金のことを心配しないで学校で学ぶために、国民の権利としてあるのが就学援助制度である。全国の就学援助を受ける小中学生は増え続け、157万人(15・6%)になり、約6人にひとりの小中学生が認定されている。就学援助の利用しやすい申請法、給付内容、認定基準の拡大などの充実を求める。

**答** 本市の認定者数は小学生781人、中学生414人、10・6%になっている。わかりやすい申請書の作成にとり、国のいくつかの支援を求める。

**原発と市民の「安全・安心」について**

**問** 市が原子力事業者と締結しようとしている協定案は、「安全神話」を前提に過去に福井県において県や市町が原子力事業者と交わしてきた協定をほぼ踏襲し、自治体側の権限がかなり縮小されたものである。建設後40年を経過した老朽原発や活断層上の原発の廃炉、原発に替わるエネルギー問題を原子力事業者に申し入れ、協議、協定化がなければ市民の安心安全は守れない。

**TPP交渉参加について**

**問** 「聖域なき関税撤廃が前提でない」という安倍首相の発言は国民を欺くものである。公約違反のTPP交渉参加に対する市長の所見を問う。

**答** 内閣総理大臣の発言により前提条件が変わった。現時点では公約違反とは判断できない。



**田中 伝造 議員**  
(今浜会)

**平成24年長浜市農業施策に関する建議について**

**問** 建議の回答、農業施策に対する市長の捉え方について問う。

**答** 昨年10月に農業委員会から「長浜市農業施策に関する建議」として7項目の意見をいただいた。この建議は、市内の全農家の意向調査の結果を踏まえた貴重な意見と認識している。今後は「長浜市農業活性化プラン」の中で、地域ごとの担い手の対応等、積極的に施策の展開を図りたい。

**「人・農地プラン」について**

**問** 「人・農地プラン」の現状と取り組みを問う。

**答** 国の施策として集落の抱える人と農地の問題を集落ぐるみで話し合うことを目的に推進。意向調査の実施や関係自治会代表者説明会を開催した。国や県においてもさらに取り組む方向であり、25年度も周知に努め、地域農業の経営基盤の強化に尽力する。プラン作成の進捗率は昨年3月の基調調査では市内293集落中、193集落(66%)の回答があったが、作成が期待できる集落は3割程度であった。このため10月に自治会役員を対象に説明会を開催し、「広報ながはま」でお知らせした結果、出前講座は3月末までで40回を予定する。また今年度の当初作成見込み29集落に対しては、現在までに7集落、6プランが決定され、3月末までにはら集落、作成中が23集落ある。ほぼ見込みどおりと考えるが、今後とも地域に出向き、現状認識と将来展望を共有していただき、一歩踏み込んだ対応をしたい。

# アンケートにご協力いただき、 ありがとうございました。

今般、市議会の活動に関する市民の皆さんの声・ご意見を反映し、さらに議会を活性化させることを目的として、市議会の活動に関するアンケート調査を実施しましたところ1,576通の回答をいただきました。ご協力いただきましたことに対し、厚くお礼申し上げますとともに、その速報をお知らせいたします。また、自由掲載欄にたくさんの意見(8項目で1,929通)をいただきました。市民の皆さまからの貴重なご意見として協議してまいります。

※調査方法・状況

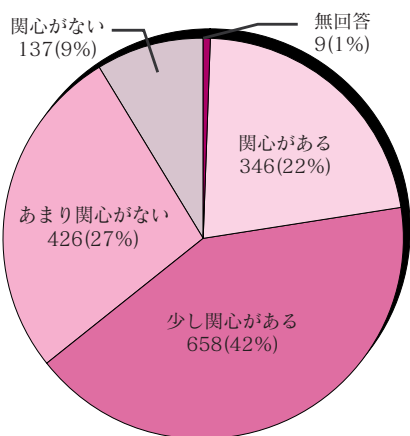
1. 調査地域 長浜市全域
2. 調査対象 20歳以上の市民
3. 調査方法 郵送による無記名アンケート調査
4. 調査期間 平成25年1月22日～2月28日
5. 回収数 1,576通 回収率 31.52%

★集計表の見方

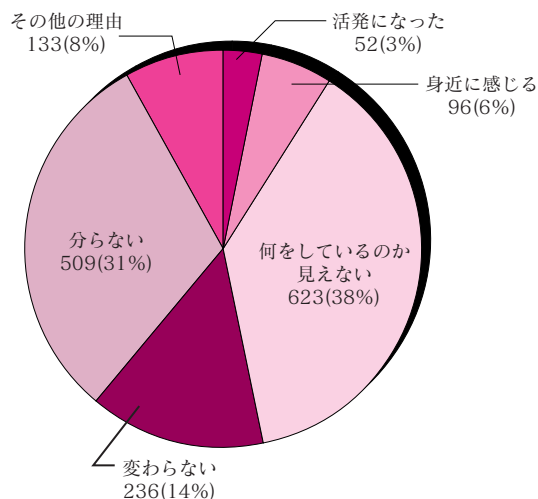
1. この報告書においては、各質問に対する回答を単純集計しています。
2. 設問の中には複数回答設問があり、回答数が全体の回答数を上回っているものがあります。
3. 構成比・回答率は、小数点以下は四捨五入しています。

※グラフ中数字は回答数と割合(%)

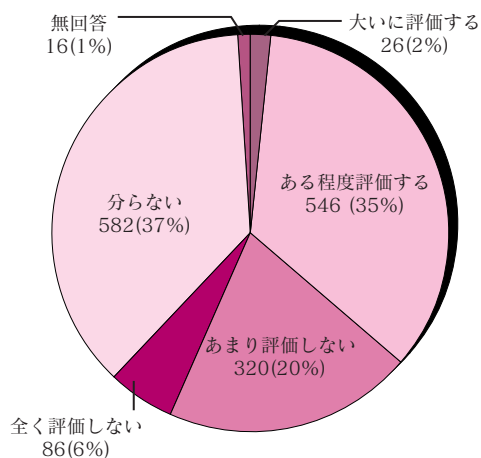
## ◆市議会への関心



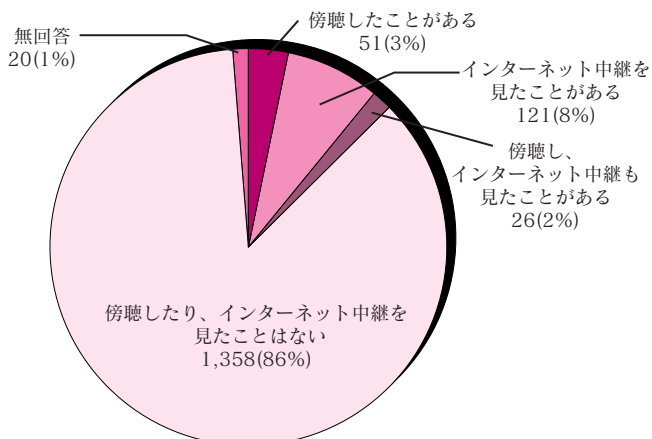
## ◆合併前後の議会はどのように



## ◆議会の活動内容の全体的評価は



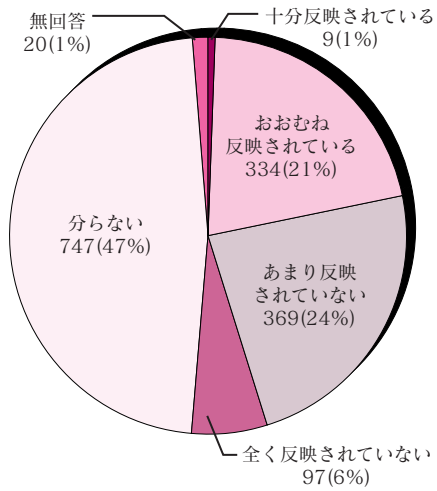
## ◆議会を視聴したことは



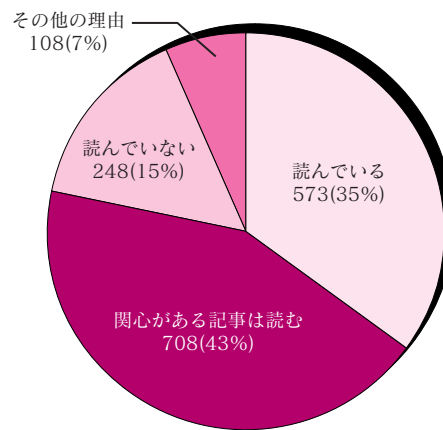


アンケートにご協力いただき、  
ありがとうございました。

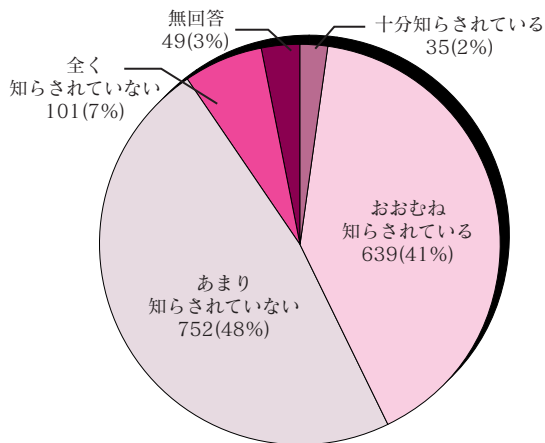
◆市民の意見は議会に反映されているかどうか



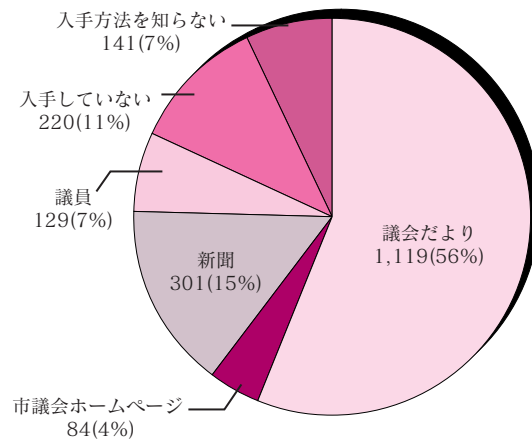
◆市議会だより(年4回発行)は



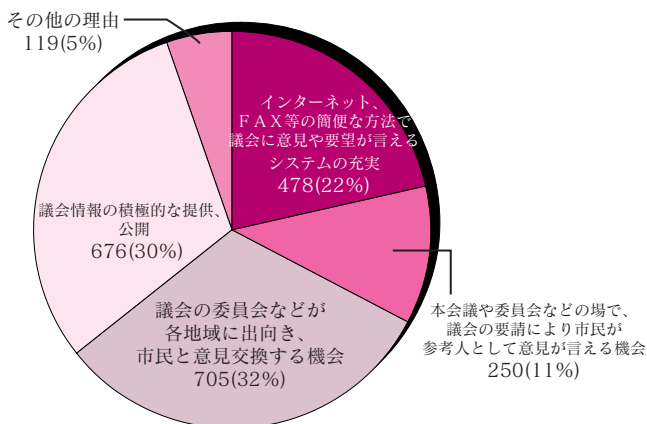
◆議会・議員の活動は公開、知らされているか



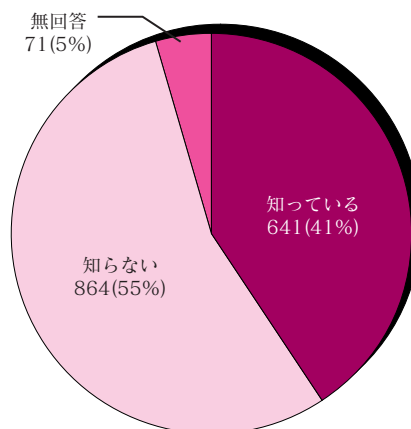
◆議会や議員の情報はどこから(複数回答)



◆市民の声を市政に反映する必要な取り組みは (複数回答)

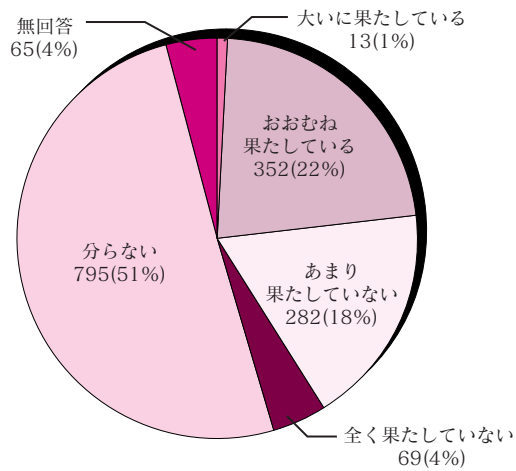


◆市政に関する請願を議会に提出できることを

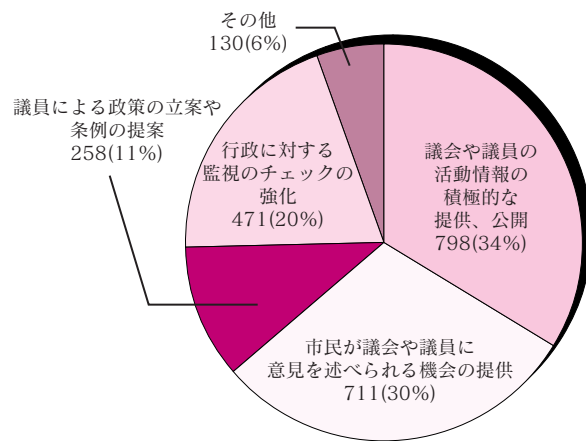


アンケートにご協力いただき、  
ありがとうございました。

◆市議会は行政のチェック機関として機能を



◆特に力を入れるべき議会改革は(複数回答)



## 市連合自治会理事の皆さんと意見交換をしました。

長浜市議会では、「議会の機能の強化」や市民視点での「分かりやすい議会運営」ならびに12万都市として、市民に「身近で信頼される議会」をめざして議会改革を進めています。

今般、各地域の代表としてご尽力いただいている市連合自治会理事（各地区連合自治会長）の皆さんと、市議会の活動に関する忌憚のないご意見やご提案などをお聞きし、さらに議会活動の活性化を図り、市民福祉の向上を進めるため「市議会の活動に関する意見交換会」を2月27日に実施しました。

まず本市議会の活動や機能、進めている議会改革の状況などを説明し、その後自由に意見交換をしました。

参加された皆さんからは「合併後の連帯感、一体感を醸成するまちづくりとは」「地区連合自治会と地域づくり協議会と議会の関係のあり方は」「興味をひき、解りやすい広報（議会だより）を」「地域の声を議会に吸い上げる機会を」「地域代表のイメージを無くしていくようにするには」など多岐の分野にわたる意見交換を行いました。



今回は、議会という組織では初めての試みで、厳しいご意見もいただきましたが、たいへん貴重な機会と感じています。今後もこのような機会が設けられるよう議会での協議を進めてまいりたいと思います。

ご協力いただきました地区連合自治会長様、ありがとうございました。



# 平成25年長浜市議会第1回定例会議決結果表

## 賛否の分かれた議案・請願・意見書

議案番号	案 件			新しい風					プロジェクト21					今浜会			日本共産党		長浜維新の会		公明党		無		無					
				伊吹正弘	阪本重光	柴田清行	中島康雄	藤井 繁	松本長治	森田義人	浅見勝也	石田筋子	落合武士	土田良夫	山岡孝明	橋本宏一	押谷與茂嗣	柴田光男	田中伝造	東野 司	浅見信夫	杉本敏隆	竹内達夫	押谷憲雄	西尾孝之	野村俊明	東久 雄	林多恵子	北田康隆	竹本直隆
第2号	平成25年度長浜市一般会計予算	賛成多数	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	欠	○	○	○	○	欠	一	○	
第3号	平成25年度長浜市国民健康保険特別会計予算	賛成多数	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	欠	○	○	○	欠	一	○	
第5号	平成25年度長浜市後期高齢者医療保険特別会計予算	賛成多数	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	欠	○	○	○	欠	一	○	
第6号	平成25年度長浜市介護保険特別会計予算	賛成多数	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	欠	○	○	○	欠	一	○	
第21号	長浜市職員退職手当条例及び長浜市職員退職手当条例の一部を改正する条例の一部改正について	賛成多数	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	欠	×	○	○	○	欠	一	○
第29号	長浜市立公民館条例の一部改正について	賛成多数	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	欠	○	○	○	欠	一	○	
請願第2号	米軍関係者による事故・事件における第1次裁判権放棄の「密約」の破棄および「日米地位協定」の見直しを日本政府に求める請願	賛成多数	趣旨了承	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	欠	○	○	○	欠	一	○	
意見書案第1号	環太平洋経済連携協定（TPP）交渉への参加に反対する意見書	賛成多数	可決	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	退	○	○	○	×	欠	×	×	×	×	欠	一	×	

※ 表内の「○」は賛成・「×」は反対・「退」は退席・「欠」は欠席を表します。  
 ※ 議長は溝口治夫は採決に加わりません。  
 ※ 会派名の「無」は、会派に属さない議員です。

## 全員一致で承認・可決・同意したもの

第1号	専決処分事項の承認を求めることについて（専決第1号） 専決第1号 平成24年度長浜市一般会計補正予算（第6号）	第34号	工事請負契約について
第4号	平成25年度長浜市診療所特別会計予算	第35号	長浜市国土利用計画の策定について
第7号	平成25年度長浜市休日急患診療所特別会計予算	第36号	きのもと交遊館の指定管理者の指定について
第8号	平成25年度長浜市公用下水道事業特別会計予算	第37号	米原市と長浜市との間の障害者自立支援法に規定する市町村審査会の事務の委託に関する規約の変更について
第9号	平成25年度長浜市農業集落排水事業特別会計予算	第38号	市道の路線の廃止及び認定について
第10号	平成25年度長浜市簡易水道事業特別会計予算	第39号	権利の放棄について
第11号	平成25年度長浜市木之本・高月水道事業会計予算	第40号	権利の放棄について
第12号	平成25年度長浜市病院事業会計予算	第41号	財産の譲与について
第13号	平成25年度長浜市老人保健施設事業会計予算	第42号	田根財産区管理会の委員の選任について
第14号	平成24年度長浜市一般会計補正予算（第7号）	第43号	平成24年度長浜市病院事業会計資本剰余金の処分について
第15号	平成24年度長浜市簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）	第44号	平成24年度長浜市一般会計補正予算（第8号）
第16号	平成24年度長浜市湖北簡易水道事業特別委員会補正予算（第2号）	第45号	平成24年度長浜市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）
第17号	平成24年度長浜市病院事業会計補正予算（第2号）	第46号	平成25年度長浜市一般会計補正予算（第1号）
第18号	長浜市多文化共生・国際文化交流ハウス条例の制定について	第47号	平成25年度長浜市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）
第19号	長浜市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例等の一部改正について	第48号	平成24年度長浜市一般会計補正予算（第9号）
第20号	長浜市長及び副市長の給与等に関する条例及び長浜市教育長の給与等に関する条例の一部改正について	第49号	平成24年度長浜市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）
第22号	長浜市特別会計条例の一部改正について	第50号	平成24年度長浜市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）
第23号	長浜市簡易水道施設管理基金条例の一部改正について	第51号	平成24年度長浜市簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）
第24号	長浜市行政財産目的外使用料条例の一部改正について	第52号	長浜市国民健康保険条例の一部改正について
第25号	長浜市診療所条例の一部改正について	第53号	教育委員会の委員の任命について
第26号	長浜市放課後児童クラブ条例の一部改正について	第54号	公平委員会の委員の選任について
第27号	長浜市農業集落排水処理施設条例の一部改正について	請願第1号	「湖北献血ルームの存続」を求める請願
第28号	長浜市道路占用料徴収条例及び長浜市法定外公共物管理条例の一部改正について	意見書案第2号	湖北献血ルーム廃止の白紙撤回を求める意見書
第30号	長浜市簡易水道の設置等に関する条例の一部改正について	委員会提出議案第1号	長浜市議会会議規則の一部を改正する規則
第31号	長浜市簡易水道給水条例の一部改正について	委員会提出議案第2号	長浜市議会委員会条例の一部を改正する条例
第32号	町、字の区域及び名称の変更について	委員会提出議案第3号	長浜市議会政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例
第33号	工事請負契約について	諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

# 先進市等の事業を常任委員会で視察しました

総務教育常任委員会では、政策提案等に資するため、次のとおり行政視察を実施しました。

◆総務教育常任委員会行政視察  
 ①視察日 2月6日～7日  
 ◆神奈川県藤沢市(行政評価制度)

藤沢市は、住宅・産業・文教都市・観光都市としての性格も併せ持つ湘南の中心都市で約42万人(県内4位)の都市です。東京から50km、ベッドタウンとして年々人口が増加し、現在も微増の状況です。

藤沢市では、行政事務事業を統一的手法で評価することにより行政運営の改善および市政を透明にすることを基本方針として平成14年度から行政評価制度に取り組みられています。



行政事業の経費や性格を客観的なデータに基づいて把握し、最少経費で最大効果を上げる視点で効率的な行政運営を図り、市民への説明責任、市民協働の行政運営への転換を図る基礎資料と位置づけられています。

②東京都町田市(公会計制度)

公会計制度には平成24年4月から本格的に取り組まれています。平成13年度から貸借対照表や行政コスト計算書を作成されており、導入の素地がありました。公会計制度は、既に総務省と東京都が導入しており、その2つを比較検討し、合作したようなスタイルです。行政評価制度にしても公会計制度にしても、行政事務事業の成績や財政状態をどのように評価し、理解しやすいものとしていくかという手法です。その先にあるのは行政に対する市民の理解度を深め、ひいては市民参加を促すことが目的です。



本市も「SSSS(仕事・職員・組織)プロジェクト」に取り組みされており、判りにくい行政事務事業を客観的視点で評価する仕組みがあります。行政のチェック機能である議会としても、透明度の高い行財政運営の表し方を提案していきたいと考えます。

## 議会の会議を傍聴しませんか

本会議や委員会は、どなたでも傍聴することができます。市民の皆さんから選ばれた議員の活動や市政の動きを知るためにも、ぜひ傍聴にお越しください。

- |                    |                       |
|--------------------|-----------------------|
| 4月18日(木) 定例常任委員会   | 6月12日(水) ~14日(金) 一般質問 |
| 10時~ 産業建設常任委員会     | 6月17日(月) 産業建設常任委員会    |
| 13時~ 健康福祉常任委員会     | 6月18日(火) 健康福祉常任委員会    |
| 15時~ 総務教育常任委員会     | 6月19日(水) 総務教育常任委員会    |
| 5月16日(木) 定例常任委員会   | 6月21日(金) 6月定例会閉会日     |
| 10時~ 産業建設常任委員会     | 7月18日(木) 定例常任委員会      |
| 13時~ 健康福祉常任委員会     | 10時~ 産業建設常任委員会        |
| 15時~ 総務教育常任委員会     | 13時~ 健康福祉常任委員会        |
| 6月 3日(月) 6月定例会開会日  | 15時~ 総務教育常任委員会        |
| ※(日程は変更される場合があります) | 8月 8日(木) 臨時議会         |



3.11 東日本大震災の犠牲者の方々に黙祷をささげました。

この他にも随時、議会運営委員会等が開催されます。詳しくはホームページまたは議会事務局でご確認ください。

長浜市ホームページ → 長浜市議会 → 議会行事予定

## 編集後記

▼第1回定例会(3月議会)では新年度に向けた市政運営に関する市長所信が述べられ、新年度予算等、多くの議案を審議しました。

▼市長の任期としては最後の年度であり、また合併4年目として、その効果を実らせる総仕上げの年度となります。新年度予算においては国の補正予算等を活用し、未来創造に向けた積極的な予算編成と感じられました。

▼昨年末に激的な政権交代があり、「アベノミクス」で景気が上向くような報道と期待感がありますが、まだ不安要素も多くあり、本市も厳しい行財政運営を求められています。新年度予算が確実に効果ある活用をされるよう議員一同がきちんと審議し、本年度も議会としての役割を果たしていかなければならないと感じています。

ながはま市議会だより  
編集委員会

市議会のホームページを是非ご覧ください。  
<http://www.city.nagahama.s-higa.jp/index.cfm/6.0.31.html>